

令和2年度 広報委員会活動報告

広報委員会

コロナ禍で始まった今年度、一斉委員会は7月にようやく第一回が開催されました（学年別）。そんな中、各行事の役割分担を決め、1年間の活動を見通し、「今、できることをやっぴいこう！」という思いのもと、委員長を中心に広報委員会活動がスタートしました。コロナの影響で委員の仕事がなくなっても、可能な範囲で他の仕事に関わる姿勢もあり、歴代の先輩より学んだ「成高生の主体性」が継承されたことを実感した1年間となりました。

《年間活動報告》

1. 体育祭放送担当

臨時休業期間となり、残念ながら体育祭自体が中止となり、放送の仕事もなくなりました。



2. 中学3年生への手紙

7月に各中学校へスクールガイド（学校案内、紙冊子）を送付する際に、広報委員3年からの手紙を同封しました。成高へ受験を決めた理由や、学校生活などについてメッセージを届けました。

3. 夏休み 学校見学会準備・運営

「新型コロナウイルス感染症防止対策」をいかに取るか考えながら、生徒保護者の会場を分けた Zoom ライブ配信方式を取りました。暑さにプロジェクターもトラブル続きとなりましたが、委員会生徒の機転を利かせた対応もあり、乗り切りました。

4. 成瀬高校学校紹介動画作成（施設編）

3年生有志を中心に、生徒会、広報委員会有志も参加し、分散登校期間に工夫して動画を作成しました。

5. 成瀬高校学校紹介動画作成（部活動紹介編）

広報委員会が主体となり、各部同好会部長の協力を得て作成しました。

6. 秋 学校説明会準備・運営補助

10月には、320名のところ320組を受け付けてしまい、参加者の皆さまへご迷惑をおかけしました。担当のミス、広報委員会生徒がフォローし対応に奮闘しました。

7. 冬 合唱祭記録担当

残念ながら中止となり、記録の仕事もなくなりました。

8. 年間 写真班

2学期後半より、令和3年度作成の新スクールガイドに向けて構成を考え、各行事の撮影を実施しました。

9. 年間 BB!プロジェクト班

(ア) マスコットキャラクター ネーミング決定

2学期当初に広報委員のクラスアンケートにより、「ベル&バート」に決定しました。

来年度は、さらに彼らキャラクターを活用していきます！

(イ) UNICEF 募金活動

広報委員の呼びかけで、広報委員会、生徒会、ボランティア部生徒が募金活動に参加しました。4日間で21,984円が集まり、浄水剤と石鹼購入のために寄付しました。

(ウ) 昼休み放送

1月より再び分散登校が始まってしばらく後に「成高生を自分たちの手でなんとか元気づけたい」とBBプロジェクト班が昼休み放送を開始しました。限られた回数ではありましたが、校内に少しでも元気を届けることができました！

成瀬BBプロジェクト

広報委員からのお知らせ

先日1,2年生の皆さんに受けて頂いたアンケートの集計結果が出たのでお知らせします。2匹のハチの名前は「ベル」「バート」に決まりました。ご協力ありがとうございました！
右の写真は校長先生が手作りしたものです。



私はSDGsについて授業で初めて知りました。SDGsとは地球温暖化やジェンダー問題、児童労働、経済格差など、世界中で協力して解決しないといけない社会問題に対する目標を立てたものです。私たちは当たり前のように電気を消費して楽な生活にすることばかり考えます。しかしその裏では環境が破壊され、干ばつや強大な台風などによって苦しい生活を強いられる国が多くあります。私はこれらの問題に関係がない人はいないと思います。ですが、日本ではSDGsを知っている人が少なく、先進国の中でも達成率が低いです。そこで、私たちにできることを考えて取り組みたいと思い募金活動を提案させていただきました。4日間の活動のために私たちは半年近く入念に計画を立て、準備してきました。自分で企画して学校全体に呼びかけるとするのは初めてで順調に進むか不安でした。でも、先生方や広報委員、生徒会、ボランティア部の多くの協力があったが無事終わることができました。今回の活動は自分で行動を起こすことへの自信に繋がりました。まだまだ自分にできることは多くあるのでこれからもよく考えて行動に移していきたいです。

生徒会執行部 2年 大塚 汐音

私は小学校、中学校時代にもユニセフ募金の活動を行ったことがあります。今回は、「目標金額を立て、そのお金で何を世界の子供たち贈るかまで、自分たちで決める」ことが、それまで私が行ってきた募金と大きく違いました。今までよりも、目的が果たせたときの達成感があり、何より周りにも目に見えて達成具合がわかることがとても良かったと思います。活動している私たちが「これだけ集まって良かった」で終わってはいけません。私は、募金をして下さった生徒の皆さん、先生方にも「ユニセフ募金の活動で私たちに何ができるか」を成果とともに伝えたことが、今回の活動をとっても意味のあるものにしたと感じました。



募金活動（広報委員・ボランティア部）

ボランティア部部长 2年 須原佳織
今回の募金活動を通じて、自分が行動することで困っている誰かの手伝いをすることができることを学ぶことができました。貧困で苦しむ人々の実態について調べるきっかけにもなり、とてもいい経験になりました。今後、募金活動をしている人を見かけた際は、私も募金に協力します。



募金活動（生徒会）



学校説明会運営補助



昼休み放送

来年度も、生徒達の手で広報活動がより工夫されて継承され、発展していくことを願っています！



広報委員長 2年 吉野陸海

私は、今回募金をお願いする立場としてこの活動に参加しました。小学生の頃、少しやったことがありましたが、自分たちが主体となって行うというのは初めてで、とても新鮮でした。募金されたお金が、どのようにして発展途上国の人々のために使われているのかなど、ユニセフ募金の仕組みについても詳しく知ることができました。これからも、SDGsに対する成瀬高校の活動として、ユニセフ募金を続けていきたいと思っています。

最後に、募金して下さった教職員、及び生徒の皆さんありがとうございました。広報委員長としてこの1年間、コロナ禍の中工夫しながら活動してきました。これからの後輩たちに、委員会活動をしっかりと引き継いでいきます。